

## 令和5年度 データ流通部会 企画書 (案)

JISA 事務局

### 1. 目的 (技術委員会 活動内容より抜粋)

次世代のインターネット環境 (Web3.0) の検討が進む中、DX 時代のデータ (デジタル資産) 流通に関して、VC (Verifiable Credentials) や DID (Decentralized Identifiers) 等の要素技術の動向等を把握・共有し、JISA 会員企業のビジネス機会の拡大に繋がる取組を検討する。

### 2. 環境認識

近年、デジタル化の急速な進展・高度化が進む中、サイバー世界と実世界 (フィジカル) の両面において、「信頼できる特定のサークル (場や環境) の外」で、サービスの利用や、法人や個人と取引を行う際に、「やり取りしている相手が本当に意図した相手であるかどうか」、「やり取りしている情報が本当に信頼できる内容であるかどうか」について確認が難しいというようなインターネット黎明期から解決されずに残っている大きな課題の解決機運が高まっている。

上述の課題認識のもと、政府やデジタル庁等は「信頼性のある自由なデータ流通 (Data Free Flow with Trust DFFT)」や「トラストを確保した DX」「Trusted Web」等のキーワードに基づく各種取り組みを本格化している。また、デジタル庁の包括的データ戦略では行動指針を「①広範なデータが使えること、②データをコントロールできること、安心して使えること (人間中心のデータ利活用)、③ステークホルダーが連携し新たな価値を創出すること」としており、その上で「社会コストと対応期間の低減の重要性」は共通認識と考える。

実現のアーキテクチャの方向性について、以下に大別されるのではないかと考えている。

#### 1. 密結合なデータ連携アーキテクチャ

※官民の中央集権的なレジストリや分権・分散型のレジストリに対する直接接続 (レジストリと密結合関係) による、データ照会・データコントロールに関わる共通の API 標準や、データ標準やデータカタログや、データガバナンス・ルール整備

#### 2. 疎結合なデータ連携アーキテクチャ

※本人 (個人や事業者) を介した本人に関係するデータ連携 (レジストリと疎結合関係) において、メッセージとトランザクション制御等に関わる API 標準や、データ標準や、データガバナンス・ルール整備等

その上で、1. については、政府や団体などにおける官民双方の検討の場での議論も進んでいる基本認識である。他方、2. については、Trusted Web 推進協議会におけるホワ

イトペーパーや実証事業等も存在するが、取り組みの期間も浅いことや、関連する要素技術の一つである VC（Verifiable Credential）等に関わる技術標準の策定からも日が浅く発展途上であること等から、「データ自体、データのやり取りの真正性検証」をシステム面およびデータガバナンスも含めた業務運用面で問題なく、また「信頼（トラスト）のDX」も踏まえたデータ流通を拡大するには、課題が山積み状態という基本認識をしている。

上記の基本認識から、当部会においては、主に2. について焦点をあてて検討を進めたいと考えている。

### 3. 活動内容

- (1) 関連する政府関連の取り組み等の動向も踏まえつつ、「Trusted Web」や、関連する要素技術やユースケース等について、外部有識者および部会参加者からの情報共有を通じて、社会実装に向けた課題の認識共有を高める。
- (2) 関連本年度は初年度の為、各社の情報共有をしつつ「部会目標」設定、「来期活動計画」の合意を目標とする。

### 4. 運営体制

部会長：岡本 俊一（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

副部会長：西脇 雅裕（みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社）

アドバイザー：山口 陽平（JISA 技術委員会 技術調査部会 部会長）  
（みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社）

アドバイザー：富士榮 尚寛（一般社団法人 OpenID ファウンデーション・ジャパン  
代表理事）（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

### 5. スケジュール(予定)

回	日程	内容
1	9月～10月	・準備会：企画及び推進方法の意見交換 ※並行して部会メンバー募集
2	11月	・第1回開催：キックオフ、勉強会
3	12月	・第2回開催：部会テーマ≒目標の意見交換、勉強会
4	1～3月	・第3、4回開催： 部会テーマ≒目標の合意、活動計画の検討・合意、勉強会

### 6. 事務局

溝尾 元洋

以上